

POWER FILE★1143

ラジオからリスナーへ贈る、年に一度の感謝祭



KBS京都ラジオ「秋のOne Day Special」

ラジオ公開生放送を中心に、ステージと朝市に沸いたKBSホール。

ラジオとリスナーが交流する恒例のイベント「KBS京都ラジオ 秋のOne Day Special」が、9月9日(土)にKBSホールで開催されました。人気パーソナリティたちが集まり、10時から16時30分までさまざまなイベントと番組公開生放送で盛り上がる一日です。

会場では、毎月恒例の「ほっかほか朝市」を、9時30分から15時までの時間拡大版で同時開催。地域の特産品や人気店の名物が集まり、イベントにさらなる賑わいを添えました。

イベント来場者はのべ2500人。多くのリスナーとともに盛り上がった秋の一日をレポートします。



番組の枠を超えてパーソナリティ結集。夢のコラボで賑やかに。

KBSホールでは、9時30分からイベントスタート。「内田あやJ-Country」(火/17時30分～18時)でおなじみのシンガー、内田あやさんのウェルカムライブで幕を開け、続いて「京建労Presents親子お弁当発表会」が行われました。

秋の食材を盛り込んだ栄養満点のお弁当を持って、3組の親子が登場。審査員となって最優秀を決定するのは、料理研究家で野菜ソムリエ上級プロの西村秋保先生と、「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」(月～金/6時30分～10時)の笑福亭晃瓶・中村薫です。アイデアと愛情がいっぱい詰まったそれぞれのお弁当に、審査員一同感心しきり。毎日のお弁当や食事づくりに役立つアイデアも飛び出しました。



11時から公開生放送に突入。まずはスターティングトークと題して、楽しいおしゃべりをお届けしました。ステージ進行役の森谷威夫アナと晃瓶・薫に加えて、「森脇健児のサタデースタジアム」(土/12時～13時)の森脇健児・かみじょうたけしが登壇。さらに、オンエアを終えたばかりの「羽川英樹の土曜は旅気分」(土/8時30分～11時)から羽川英樹とさわともかが駆け付けました。普段は顔を合わせる事のないメンバーが一同に会して、賑やかにお送りした1時間となりました。

続いて12時から「森脇健児のサタデースタジアム」。森脇・かみじょうがステージで元気いっぱいトークを繰り広げました。会場のみならず



ともやりとりしながらのホットな時間。まだまだしゃべり足りない森脇アニキをよそに、番組はあっという間にエンディングとなりました。

さらに13時から「京都府Presents～人権～共生する社会へ私達から発信すること」を公開生放送。人権をテーマに、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を考える特別番組です。進行役は竹内弘一アナ。晃瓶・薫も参加しました。人権問題に対する京都府の取り組みを紹介するとともに、地域で活動するボランティアやNPO法人からゲストを迎え、ディスカッションも展開。子ども、高齢者、外国人などさまざまな立場の人たちの人権に想いをめぐらせ、多角度から問題の解決策を探る番組となりました。



ほっかほか20周年のスペシャルを、リスナーと一緒に。

そして14時から、「ほっかほかラジオありがとう20周年！」の時間。番組の気持を物語るかのように、会場はたくさんの観客であふれました。

晃瓶・薫はいつものかけあいで観客たちを笑わせ、番組はなごやかに進行。晃瓶のおとうと弟子・笑福亭達瓶と笑福亭恭瓶もお祝いに駆けつけ、会場を盛り上げました。



ほかにも入れ替わり立ち替わりゲストが登場。情報と笑いと会場との交流にあふれた展開を楽しんでいるうちにフィナーレの16時。20周年の節目にふさわしい賑々しい公開生放送となりました。

さらにこの日、街を駆け回っていたのが「土曜は旅気分」のラジオカー担当三崎智子。会場の賑わいから街中情報まで、各番組へ現地からレポートをお届けしました。公開生放送終了後、会場ではお楽しみ抽選会を開催。最後の瞬間まで会場は大いに沸きました。

アニバーサリーイヤーを迎えたほっかほかを軸に、硬軟のコンテンツを織り交ぜてお届けしたこの秋のイベント。来年もお楽しみに。

